

平成 23 年度第 1 回宗像市行財政改革推進委員会 会議録（要約）

日時	平成 23 年 5 月 13 日（金） 14 時 00 分～16 時 30 分	会場	市役所 201 会議室
委員	■ 近藤 桂子（会長） ■ 萱沼 美香	■ 宗像 優（副会長） ■ 郷司 正和	■ 永島 義己
市	■ 安部 徹二（経営企画部長） ■ 衣笠 哲哉	■ 飯野 英明	■ 中野 和久（経営企画課長） ■ 松吉 信明 (事務局：経営企画部 経営企画課)

1 開会あいさつ（会長）

2 平成 22 年度行政経営改革プランの実績について

【事務局】第 2 次行財政改革大綱に基づいて取り組んでいる行政経営改革プラン（全 123 プラン）のうち、平成 22 年度に着手予定であった 112 のプランについて実施結果を取りまとめたので、その概要について事務局から説明する。

説明は、人事・組織の改革に係るもの（9 プラン）、サービスとシステムの改革に係るもの（61 プラン）、財政の改革に係るもの（42 プラン）の順に行う。

委員の皆さんから忌憚のない意見をいただきたい。

（1）人事・組織の改革（プランNo.1～10）

事務局から各プランの実績、達成度、改革効果等について説明。

その後、各委員から質疑、意見。

【永島委員】人事・組織の改革に係るプランについては、その達成度が定量的にとらえられているのはプランNo.10のみであり、他のプランは定性的でわかりにくい。ほんとにその達成度であるのか疑問がある。目標を数値化するなどの工夫が必要ではないか。

⇒ 私も同様の印象を持った。例えばプランNo.1 について、改革効果として「職員の能力向上につながった」とあるが、具体的に自律・育成型人事考課制度の実施が、なぜ職員の能力向上につながったと言えるのかわからない。プランNo.2 やプランNo.3 についても同様である。目標達成指標は「60%以上 100%未満」など定量的なものになっているが、具体的な数値が示されていないので、結局は主観的に評価してしまっているのではないか。次回、取りまとめる際には、なるべく定量的に示すよう検討してもらいたい。【副会長】

⇒ 取りまとめの段階で、事務局から担当課にヒアリング等を実施し、できるだけ具体的に明示するよう心掛けた。改革効果が金額で表せるプランは数値できるため検証しやすいが、その他のプランは数値での検証が非常に難しい。人事・組織は特に難しい分野である。

ただ、今回の委員の意見を踏まえ、取り急ぎ担当課と調整を図り、改革効果が数値化できるものは数値化し、数値化できないものは記述を客観的でわかりやすいものになるよう心掛けるなど、記述の改善を図りたい。【事務局】

【郷司委員】プランNo.3 は、職員アンケート等を実施すれば検証できるのではないかと。何か定量的な検証が必要だと思ふ。

⇒ 定量的な検証ができる材料がないか担当課に確認し、可能であれば改善を行う。【事務局】

【郷司委員】プランNo.4 とプランNo.5 は、なぜ達成度が B なのか。

⇒ プランNo.5 は人権対策課と男女共同参画推進課の統合ができなかったためである。プランNo.4 については担当課に再確認する。【事務局】

【萱沼委員】プランNo.9 は、期限付職員と非常勤嘱託職員についての調整が完了していないことから達成度が B となっている。引き続き調整を行う予定はないのか。

⇒ 継続して調整を行う予定。【事務局】

【副会長】プランNo.10 は達成度が A となっているが、年次改革効果が目標を上回ったからなのか、削減した職員数が目標を上回ったからなのか、理由が不明である。いずれによるものか。

⇒ 現時点では金額で評価を行っている。【事務局】

【郷司委員】プランNo.10 の年次改革効果額は、前年度との比較による単年度効果額なのか、ある時点と比較しての累積効果額なのか。累積であれば合計するのはおかしいのではないかと。

⇒ 各年度の年次改革効果額は、平成 21 年度と比較しての累積効果額を表している。5 年間の効果額の総計は、各年度の累積効果額を合計することにより表せるため、合計欄を設けている。ただし、プラン変更の欄の合計欄は、プラン変更があった年次の改革効果額のみを合算しており、本プラン上意味のない数字となっているため、見直しを行う。【事務局】

(2) サービスとシステムの改革 (プランNo.11～77)

引き続き、事務局から各プランの実績、達成度、改革効果等について説明。

その後、各委員から質疑、意見。

【萱沼委員】プランNo.15 は、休日開庁日の来庁者数や、平日の窓口の処理件数の推移など、具体的な数値で示すことができるのではないかと。

⇒ 担当課に確認し、数値化する方向で検討する。そのほかにも、プランNo.16 の相談件数や、プランNo.22 のサイン設置箇所数など、数値化できるものは数値化の方向で調整する。【事務局】

【萱沼委員】プランNo.36 は、プラン変更により仮施設を設置することとなっているが、平成 25 年度には仮施設を廃止することとなっている。市民の利便性を損なうことはないかと。

⇒ むしろ市民の利便性を向上するために、仮施設を設置するもの。仮施設廃止後はコミセンが開館するため、市民の利便性は保たれる。【事務局】

【郷司委員】プランNo.13 は、平成 22 年度のみ具体的な行動計画があがっているが、平成 23 年度以降は何をするのか。

⇒ これは単年度のみプランであるため、平成 22 年度をもって完了。【事務局】

【副会長】プランNo.41 の効果に「市民からの直接の意見の審議への反映」とあるが、具体的にどのように反映されているのか。

⇒ おそらく、議会報告会で出された市民意見を踏まえて、それぞれの議員が委員会における発言や審議を行うことができたという意味であると思われる。【事務局】

【副会長】プランNo.43 の改革効果に「緊急時に」とあるが、具体的にどのような時を指すのか。

⇒ 災害発生時等である。【事務局】

【副会長】プランNo.47 は予定どおりの実績があがっているように見えるので、達成度はBではなくAになるのではないか。

⇒ おそらく何らかの要因があると思われる。担当課に確認する。【事務局】

【副会長】プランNo.61 は、「年度内に答申を受けるまで終わらせることはできなかった」とあるので、達成度はBではなくCになるのではないか。

⇒ 担当課に確認する。【事務局】

【萱沼委員】同じくプランNo.61 について、達成度をCに訂正するのであれば、あわせて平成 22 年度の年次改革計画も「検証」から「検証と答申」に修正したほうが良いのではないか。

⇒ あわせて確認する。【事務局】

(3) 財政の改革（プランNo.78～123）

引き続き、事務局から各プランの実績、達成度、改革効果等について説明。

その後、各委員から質疑、意見。

【萱沼委員】プランNo.86 は、普通財産の全体の物件数と貸付に至った物件数を数字で表すと、より改革効果が明確になるのではないか。

⇒ 担当課に確認する。【事務局】

(4) その他

その他、全般について各委員から質疑、意見。

【永島委員】全部で 123 の個別プランについては、改革効果の高いものも低いものも、難易度の高いものも低いものも一緒になっていて、プラン間のレベルがあっていない。今後のプランの達成度・進行管理について、各課に委ねるもの、経営企画課で管理するもの、行革委員会で管理するものの3つに区分するなど、メリハリをつけて行うことはできないか。

⇒ 今後の進行管理の手法については、追って検討する。【事務局】

【永島委員】改革効果があがっているものについては、もっと市民に対してアピールすべきであ

る。あまり細かく見せてもわかりにくいので、市民にとってわかりやすくPRしてはどうか。
⇒ 市の行政経営改革に関する取り組みは、職員一人ひとりの努力がなければ実現しない。これだけの数のプランをつくり、進行管理がなされていることに、市民として感服している。もっと対外的にPRすべきである。【会長】
⇒ わかりやすく効果的なPRができるよう検討する。【事務局】

【副会長】 達成度の表記については、未着手のものとは別に、改革すべき年次が到達していないものは「-」とするなど、凡例も含めて見直せばわかりやすくなるのではないか。
⇒ そのように検討する。【事務局】

【副会長】 プラン全体の目標値について、達成度Aが何%以上、B以上が何%以上などという数値目標はあるのか。
⇒ すべてのプランについて100%達成すること、つまり全プランの達成度がAとなることを目標としている。【事務局】

【副会長】 本日、各委員から出された意見を踏まえて、どのような調整がなされるのか。
⇒ 修正できるものは修正したうえで、できるだけ早期に委員に郵送する。送ったものに対して、新たに意見等があれば改めて承り、検討のうえ、修正できるものは再度修正する。【事務局】

【安部部長】 プランの進行管理について、現状では、年度経過後に各年度の年次改革計画どおりに取り組みが進んでいるかを精査し、達成度を選択するようにしている。ところが、年次改革計画どおりに進まなくてもプランの期間全体で見ると達成できるものがあったり、期間を前倒して実施できたため早々に達成できるものがあったりと、達成度の考え方については事務局としても悩ましい部分がある。ご意見があればいただきたい。
⇒ 改革効果が金額で表せるものなど定量的に示すことができるプランについては、期間全体を通じた改革効果に対するその時点までの達成度をパーセントで表すなどの工夫はできないか？
【郷司委員】
⇒ 意見を踏まえ、検討する。【事務局】

3 その他

【事務局】 平成23年1月15日（土）に実施した外部評価（事業仕分け）について、先日、市としての対応方針を決定した。近日中に委員に郵送する。

【副会長】 今年度は、ほかに審議を行う予定の案件はあるか。
⇒ 現在の委員の任期中（平成23年10月6日まで）に新たな案件は予定していない。【事務局】

4 閉会あいさつ（会長）